

様式4 自然災害への備えと対応

平常時の備え

- 医療機器の作動時間、作動方法を確認しておきましょう。
- 避難に備え、様式2の持ち出し物品をまとめておきましょう。
- 自宅、避難先、避難経路のハザードマップを確認し、予想される災害の程度や搬送支援者の確保状況等に応じて、避難のタイミングや避難先を決めておきましょう。

◎栃木県内各市町のハザードマップ

<https://www.pref.tochigi.lg.jp/h07/documents/h26dosya-hazardmap-link.html>



風水害の対応

～危険度の高まりに応じて段階的に発表される防災気象情報の確認と取るべき行動の目安～

警戒レベル 1 【早期注意情報】 情報収集し、必要に応じて避難準備を始める

- 医療機器のバッテリー等の充電
- 非常用電源等の作動確認

警戒レベル 2 【注意報】 避難行動を確認。いつでも避難できるよう準備を完了する
台風など大規模な災害が予想される場合は、この段階での避難開始も検討する

- 避難時持ち出し物品の準備、確認 →P5(様式2)
- 避難先、避難経路、避難手段の確認 →P3～4(様式1)および地図を確認
- 避難する場合は、早めに搬送支援者・避難先に連絡し、気象情報を確認しながら搬送支援者に出発予定時刻等を伝える。

警戒レベル 3 【高齢者等避難】 すみやかに危険な場所から避難する

- 避難先へ避難、安否の連絡を行う (様式1)

警戒レベル 4 【避難指示】 危険な場所からの避難を完了する

- 安否の連絡を行う (様式1)